

地域経済分析シリーズ

農業編

●全国からみた愛知県の農業産出額（平成 24 年）	1
●全国からみた愛知県の農業の生産性（平成 22 年）	2
●愛知県の農業産出額の構成（平成 24 年）	3
●広域エリア別の農業産出額（平成 18 年）	4
●主要品目の広域エリア別構成比（平成 18 年）	5
●広域エリア別の農家数（平成 22 年）	6
●広域エリア別の農家数の推移（平成 17-22 年）	7
●広域エリア別の年齢別農業就業人口（平成 22 年）	8
●広域エリア別の農業就業人口ピラミッド（平成 22 年）	9
●愛知県の農業就業人口の年齢構成比（平成 12-17-22 年）	12
●愛知県の農産物販売金額規模別農家数の構成比（平成 12-17-22 年）	13
●愛知県の農産物販売金額別農家数の不均等度（平成 22 年）	14
●飼養頭羽数、一戸当たりの飼養頭羽数の推移（平成 12-17-22 年）	15
●施設園芸栽培面積、一戸当たりの栽培面積の推移（平成 12-17-22 年）	16
●露地栽培面積、一戸当たりの栽培面積の推移（平成 12-17-22 年）	17
●農業産出額特化係数（平成 24 年）	18
●花きの農業産出額特化係数（平成 18 年）	19

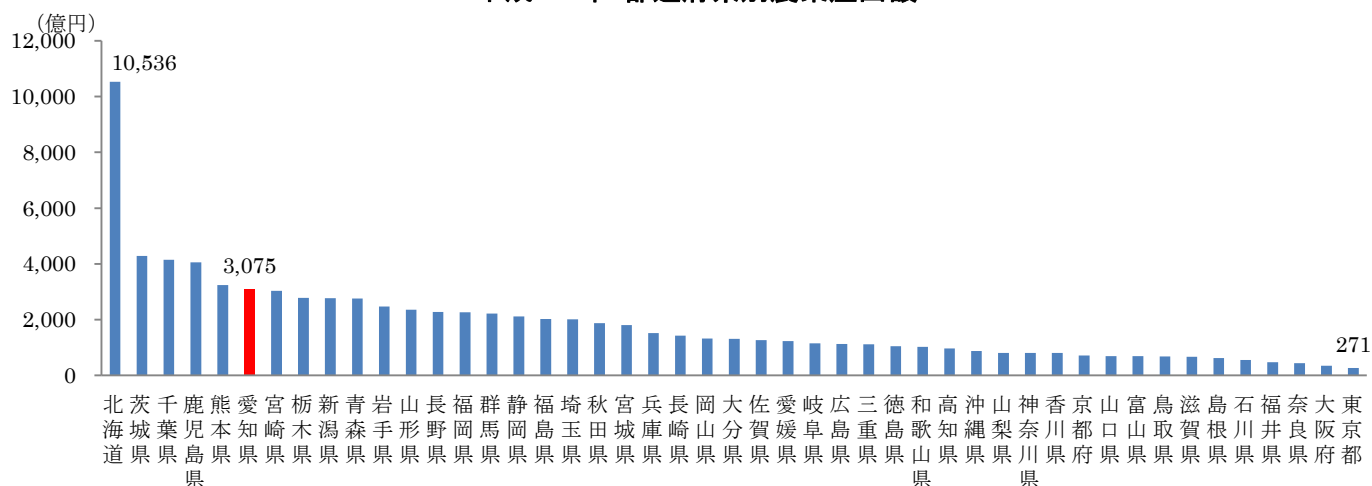
● 全国からみた愛知県の農業産出額（平成 24 年）

図は、平成 24 年を調査年とする「生産農業所得統計」結果の都道府県別の農業産出額と全国シェアです。

農業産出額の全国第 1 位は北海道の 1 兆 536 億円で、最下位は東京都の 271 億円となっており、全国合計は 8 兆 6106 億円となっています。愛知県の農業産出額は 3075 億円で全国第 6 位です。

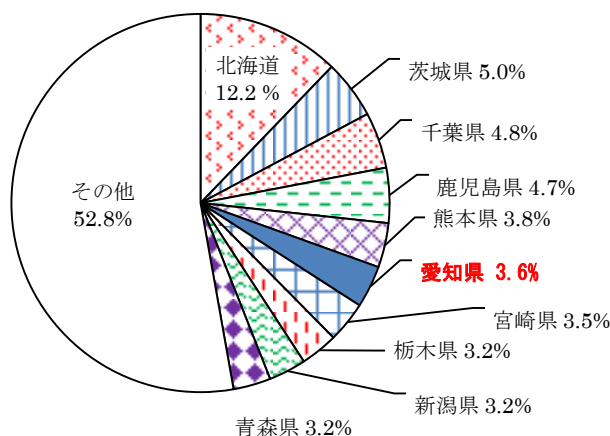
愛知県の農業産出額の全国シェアは 3.6%で、第 1 位の北海道が 12.2%を占め、第 2 位以下を大きく引き離していることがわかります。また、上位 10 道県で全国の約半分のシェアを占めています。

平成 24 年 都道府県別農業産出額



資料：農林水産省 「平成24年生産農業所得統計 都道府県別推計統計表」より作成

平成 24 年 農業産出額の都道府県別シェア



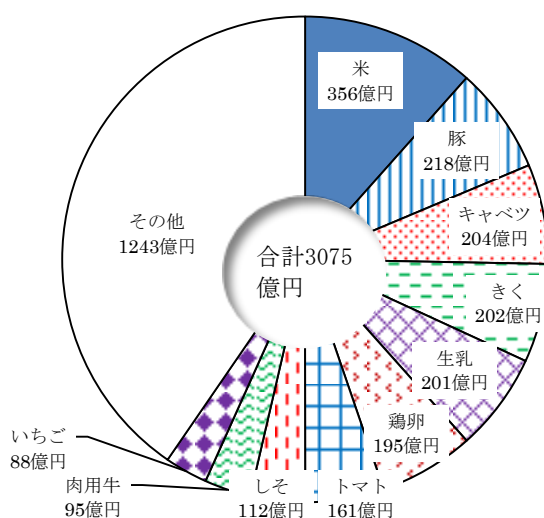
資料：農林水産省 「平成24年生産農業所得統計 都道府県別推計統計表」より作成

● 愛知県の農業産出額の構成（平成 24 年）

図は、愛知県の農産物産出額を大きい順に円グラフにしたものです。米、豚、キャベツ、きく、生乳、鶏卵等が主要な農産物となっています。

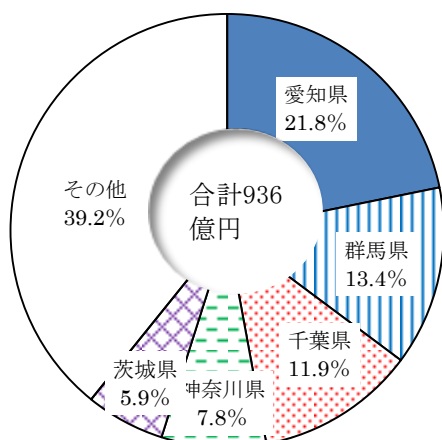
このうち、キャベツときくの産出額は全国第 1 位で、キャベツは全国シェア 21.8%、きくは全国シェア 31.1%となっています。特に、きくは第 2 位の沖縄県を大きく引き離し、全国シェアの 3 分の 1 を占めています。

平成 24 年 愛知県の農産物産出額



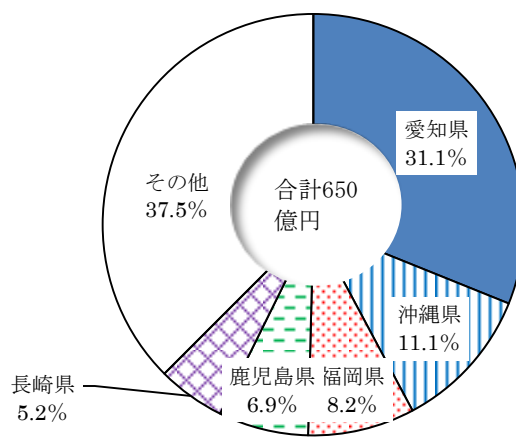
資料：農林水産省 「平成 24 年生産農業所得統計」より作成

「キャベツ」の産出額の都道府県別シェア



資料：農林水産省 「平成24年生産農業所得統計」より作成

「きく」の産出額の都道府県別シェア



資料：農林水産省 「平成24年生産農業所得統計」より作成

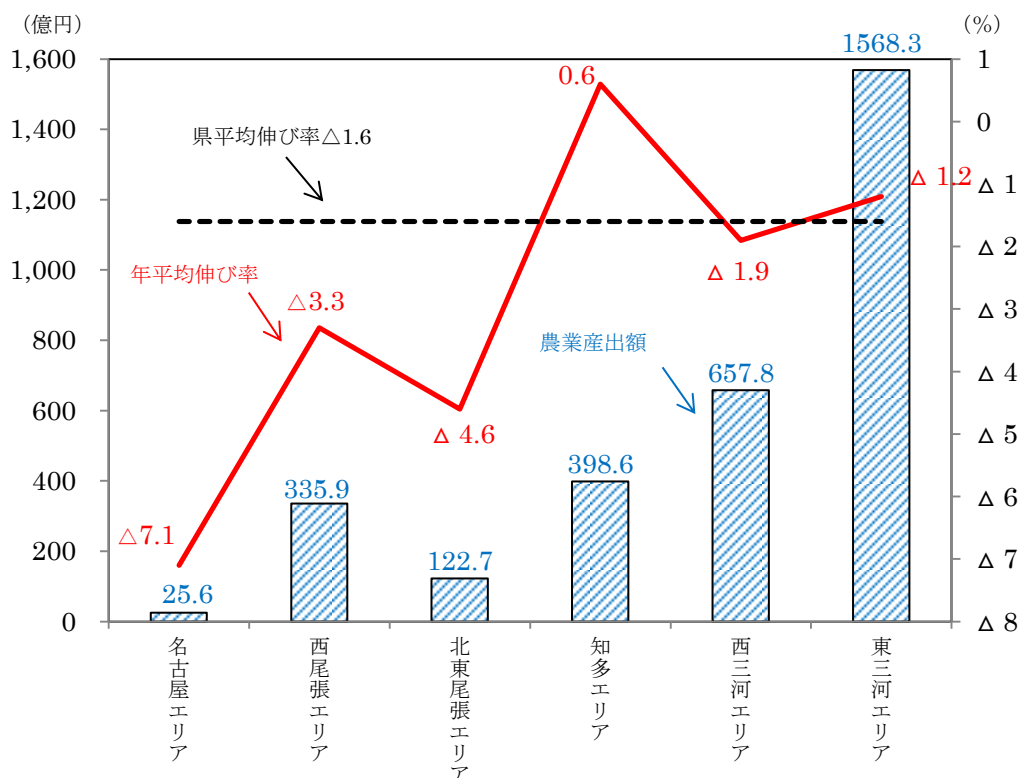
● 広域エリア別の農業産出額（平成 18 年）

図は、平成 18 年の広域エリア別の農業産出額と平成 15－18 年の平均伸び率をみたものです。平成 18 年の数値を使用したのは、生産農業所得統計（農林水産省）において市町村別の農業産出額が平成 19 年以降公表されていないためです。

平成 18 年の愛知県の農業算出額は 3108 億円で、平成 24 年と同じく全国第 6 位です。これを広域エリア別で見ると、東三河エリアが 1568 億 3 千万円で、県全体の 50.4% を占め、次いで西三河エリアの 657 億 8 千万円、知多エリアの 398 億 6 千万円の順となっています。

また、平成 15 年から 18 年までの 3 年間における県平均伸び率は $\Delta 1.6\%$ となっています。広域エリア別にみると、年平均伸び率がプラスだったのは知多エリアのみで 0.6% でした。

農業産出額（平成 18 年）と年平均伸び率（平成 15－18 年）



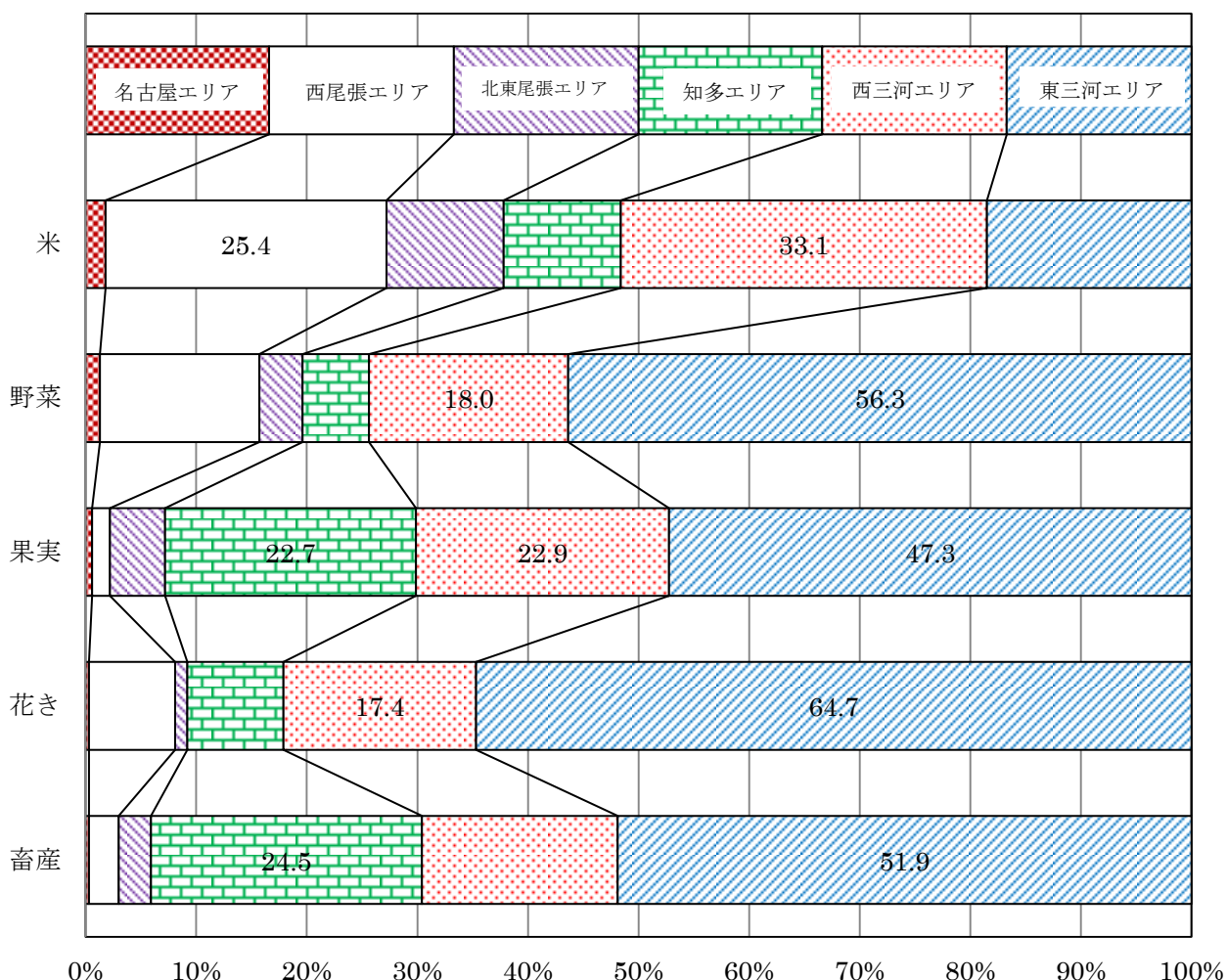
資料：農林水産省 「平成 18 年生産農業所得統計」「平成 15 年生産農業所得統計」より作成

● 主要品目の広域エリア別構成比（平成 18 年）

図は、品目別に平成 18 年農業産出額の構成比をみたものです。

米では西三河エリアが 33.1%、次いで西尾張エリアの 25.4%の順となっており、野菜では東三河エリアの 56.3%、次いで西三河エリアの 18.0%となっています。果実では東三河エリアの 47.3%、次いで西三河エリアの 22.9%、知多エリアの 22.7%の順となっています。花きでは、東三河エリアが 64.7%と約 3 分の 2 を占めています。畜産では東三河エリアが 51.9%とほぼ半分を占め、知多エリアが 24.5%とつづいています。これらから、米以外の品目では、東三河エリアの構成比が最も高いことがわかります。

品目別農業産出額の広域エリア別構成比（平成 18 年）



資料：農林水産省 「平成 18 年生産農業所得統計」より作成

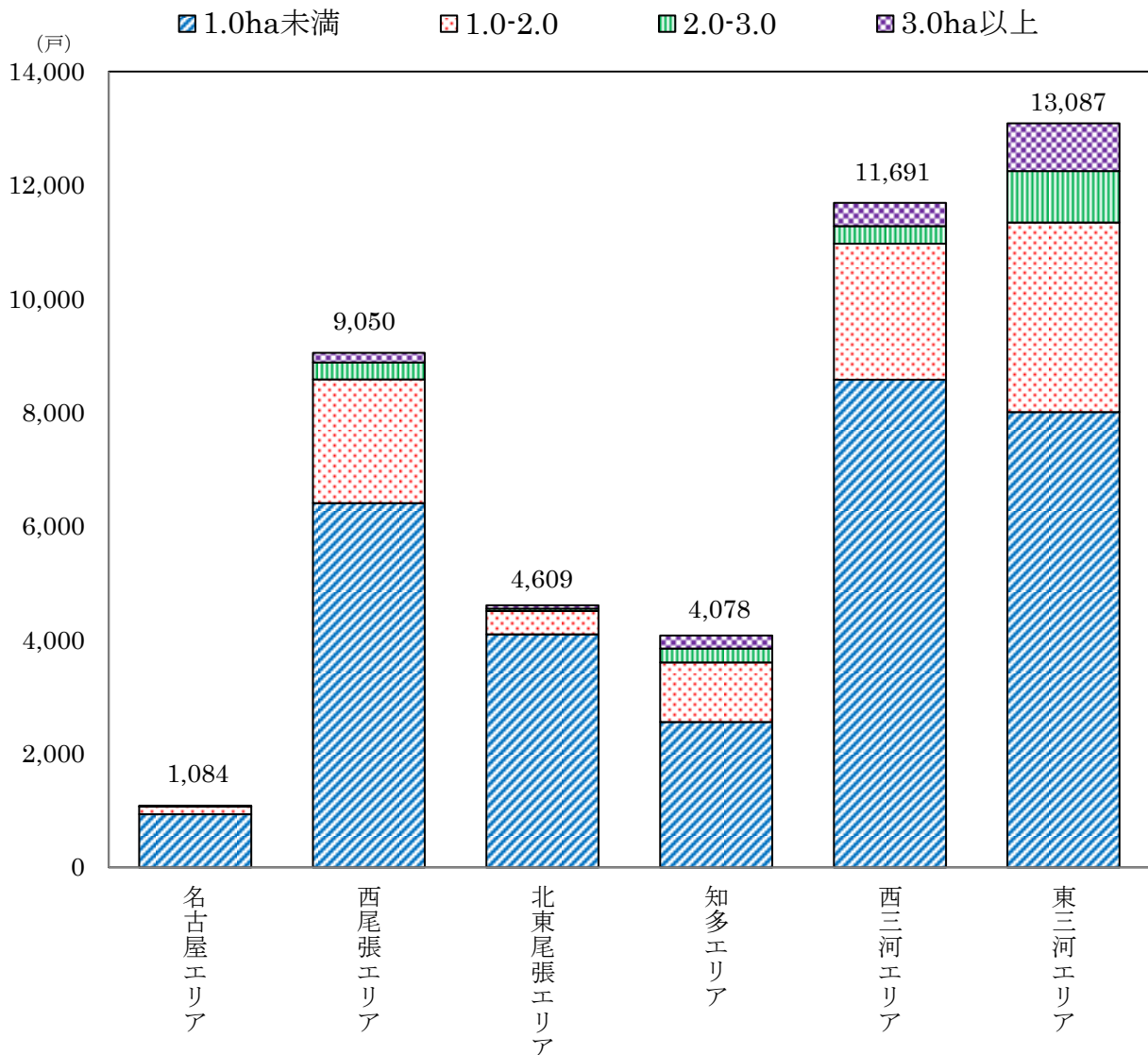
● 広域エリア別の農家数（平成 22 年）

図は、平成 22 年の広域エリア別にみた経営耕地面積規模別の農家数です。

平成 22 年の愛知県の総農家数は 43,599 戸で、最も多いのが東三河エリアで 13,087 戸、次いで西三河エリアの 11,691 戸、西尾張エリアの 9,050 戸、北東尾張エリアの 4,609 戸、知多エリアの 4,078 戸、最も少ないのが名古屋エリアの 1,084 戸となっています。

経営耕地面積規模別で見ると、どのエリアも 1.0ha 未満の農家が過半数を占めています。3.0ha 以上の農家の割合が大きいのは、東三河エリア(6.4%)、知多エリア(5.6%)となっています。

経営耕地面積規模別農家数（平成 22 年）



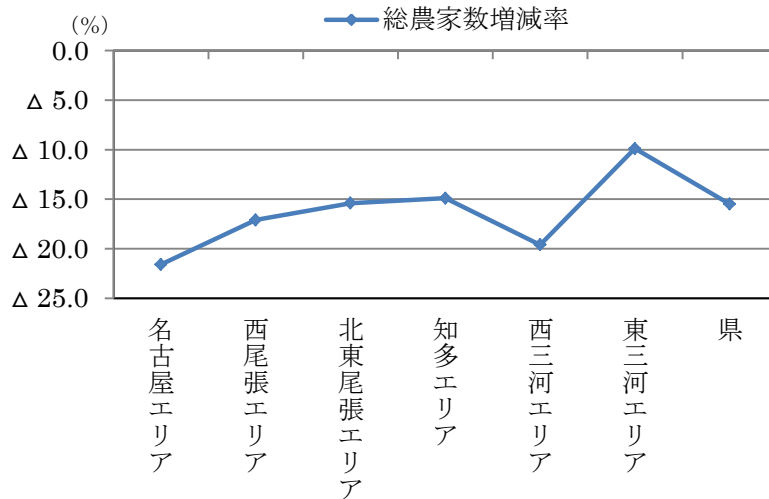
資料：農林水産省 「2010年世界農林業センサス」より作成

● 広域エリア別の農家数の推移（平成17-22年）

図は、平成17年と平成22年の農家数の増減をみたものです。増減率をみてもわかるように総農家数は減少しています。

経営耕地面積規模別にみると、2.0ヘクタール未満の農家はすべての広域エリアで減少しています。逆に、3.0ヘクタール以上の農家は、名古屋エリアを除いて増加しています。

経営耕地面積規模別農家数の増減（平成17-22年）



増減数（平成17-22年） (戸)

	1.0ha未満	1.0-2.0	2.0-3.0	3.0ha以上
名古屋エリア	△ 239	△ 56	△ 3	0
西尾張エリア	△ 1,545	△ 318	△ 20	11
北東尾張エリア	△ 794	△ 50	5	3
知多エリア	△ 603	△ 155	8	34
西三河エリア	△ 2,213	△ 623	△ 59	37
東三河エリア	△ 1,120	△ 407	△ 53	135
県	△ 6,514	△ 1,609	△ 122	220

資料：農林水産省 「2010年世界農林業センサス」「2005年農林業センサス」より作成